

立志大成



先日は、「いのちの誕生のお話」の授業に関わって、「インタビュー」、「お家の人からの手紙」と、ご協力いただきましてありがとうございました。おかげさまで学習がとても実り多きものとなりました。大変感謝しております。

ここで、学習した内容についてお知らせします。また、ご家庭でも時折話題にあげていただき、さらに学習を深めていただけるとありがたく思います。

(このページの写真は昨年度のものです。)

1、「いのちの誕生のお話」講座

* 助産師の堀口さん、保健師の平井さんがお話してくださいました。

○命のはじまり

- ・ 数億の精子の中のたった1つが卵子と受精して命（受精卵）ができる。
→ 針であけた穴の大きさ（1か月後には小豆大になる。）
- ・ 別の精子と受精したら、今のみんなは存在しなかった。みんな1等賞!!のいのち



○妊娠がわかったころ

- ・ お腹の中の様子をパネルで説明してくれました。

○胎動を感じたころ

- ・ 5カ月の胎児は、350mlの飲料缶くらい。
- ・ へその緒を通して胎盤から栄養や酸素をもらっている。
- * 実際の大きさの人形を見せてくれました。
- * 胎児の心音と母体の心音を聞かせてもらいました。
赤ちゃんは、お母さんの心音と比べるとすごく早い!!



○お腹が大きくなったころ

- ・ 生まれる準備をしながら成長
- ・ 逆子の心配が出てくるころ
- * 生まれるころのお腹の中の様子を骨盤の模型やお人形で見せてくれました。
- ・ 骨盤は、男性の方が細長くできていて、女性は赤ちゃんを支えられるように、また、生みやすいように広く丸くできている。



○生まれたとき

- * 人形で生まれてくる時の様子を再現してくれました。
- ・ 赤ちゃんは、生まれるよ!!と合図（陣痛）を送った後、頭の一番細い部分から出てこようとする。最初は横向きで回旋しながら少しずつ出てくる。頭が出た後は、背中が上側になり、肩が出て、最後は母の方を向いて出てくる。
- * 実際の産声を聞かせてもらいました。オギャー!!
- ・ 産声で初めて自分で呼吸をする。
胎盤は必要なくなるので、へその緒を切る。
- ・ お母さんも赤ちゃんも命がけ。
自分の意志で生まれてきたんだよ。



○出産のDVD視聴

*実際に自宅出産された方の映像を見せていただきました。

- ・出産前に楽しみにしている様子や、実際の出産時の大変さと家族の応援の様子、そして、生まれた時の家族の喜びと安堵など、新しいいのちを迎えることの素晴らしさが感じられる映像でした。2年生のみんなも自分が生まれた時はこうだったんだということが感じられたのではないのでしょうか。

2、妊婦体験・赤ちゃん抱っこ体験

妊婦体験では、約8kgある妊婦ジャケットを着て、重さや動きにくさを体験しました。

赤ちゃん抱っこ体験では、約3kgの赤ちゃん人形を抱っこさせてもらいました。



お手伝いしてくださったお家の方々、ありがとうございました！

3、保健師：平井さんのお話

- 母子手帳の話 * 母子手帳の役割を話してくれました。
 - ・一番見てほしいのは「分娩所要時間」
 - みんなが外の世界に出てくるまでの時間。
 - みんなが初めて「命がけで頑張ってきた時間。」

- 生まれてくる赤ちゃんへひとこと。
 - * 2年生のお母さん(M)やお父さん(F)が母親学級の時に書いたメッセージを紹介してくれました。抜粋

「M：ママのおなかの居心地はどうですか？早くパパと3人で暮らしたいね。いつ出てきても平気だよ。出産まであと少し、一緒に頑張ろうね。F：元気に生まれてきてね。パパとママと3人でいっぱい遊ぼうね。」

「M：私たちを選んでくれてありがとう。偶然ではなくきっと言葉にはできない意味があるのだと思います。とにかく安心して元気に生まれてきてね。みんなが心待ちにしています。F：私たちを選んでくれてありがとう。素直で明るく健康に育ってほしいと願っています。」

「M：あなたを授かって本当に幸せだよ。会える日を楽しみに待っているよ。F：ママをサポートするから安心して生まれてきてね。」

「M：あなたの母親になることができるとてもうれしく思います。一日も早くあなたに会いたいです。どうぞ元気な姿をお母さんに見せてくださいね。F：生まれ生まれてくる奇跡に感謝。」

「M：初めて胎動を感じあなたをお腹の中で実感できた時は元気に育ってくれているという喜びと、うれしきでいっぱいでした。F：元気で健康に育つよう一緒に頑張ろう。ママと3人で幸せな家庭をきずこうね。」



○みんなのいのち

- ・生まれてくるまでに命がなくなってしまう、生まれた時に命をおとしてしまうこともある中で、無事に生まれてきて、約14年間成長してきたということはすごく素晴らしいこと。
- ・みんなが生まれた時、周りの人は本当にうれしかった。お父さんお母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、病院のお医者さん、看護師さん、成長を見守ってきた保健師、助産師…。本当にたくさんの方がみんなの誕生を喜んだ。

忘れないで…

- ♥みんながこの世に生まれてきたとき、すぐく周りの人が喜んだこと。
- ♥ここまでみんなのことを思って育ててきた人がいるということ。
- ♥みんなのいのちが消えてしまったら、すぐく悲しんだり、傷ついたりする人がいるということ。

14年間過ごしてきて、今、なんかイライラするな、辛いな、なんで自分は生まれてきたのかななんて思ってしまう人もいるかもしれない。

みんなはこれからの人生がとても長い。楽しいことがいっぱい待っているんだけど…、辛くてイヤだなと思うこともある…。消えていなくなっちゃった方が楽だなと思うこともあるかもしれない。

でもそんなときは…

思い出して…

そして… 苦しくてつらくなったときは周りの誰かに話してね。

周りの大人に話してみてもいい。みんなが思いつかないような意見を言ってくれる人がいたり、いろんな意見が聞ける。最低3人には話してみよう！いろいろ相談できる場所もあるので利用してね。

にこにこ甘楽も大歓迎。

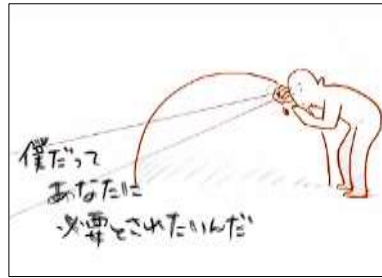
町健康課作成のカード→



* 平井さん、堀口さんからの歌のプレゼントです。画像とともに聞きました。

「あかり」

歌：ワカバ
作詞：ワカバ
作曲：ワカバ



♪ 泣きたくて でも泣けなくて
いま ひとりぼっちのあなたへ
ちゃんと伝えたいんだ
そばにいたいよ どうか どうか

僕らはいつだって弱虫で
いつだって初心者で……♪

4、お家の人からの手紙

ここでお家の方からの手紙を一人ずつ渡し、その場でそれぞれ読みました。

「僕が生まれた時のこと」というCDを聞いてもらいました。



♪ 僕が生まれた時の ずっとずっと前のこと
十月と十日のあいだ 命を分け合いながら
月満ち時いたれば 痛みと苦しみの中
それすら恐れないとは どんな想いなのだろう？
ひとたび元気な声を 聴いたら忘れて
「苦しめた人を祝う」 他のどこにあるのだろう？… ♪

★子どもたちの感想から・・・★ ごく一部ですが・・・

- ・命はとても尊く、素晴らしいものだと感じることができた。私をうんでくれた母と父に感謝したいと思いました。私がかうまれるまでとても大変で苦労したと思うし、うまれてからも子育てなど大変なんだなと思って、命をムダにしないように生きていきたいと思いました。
- ・みんなうまれる前から今も大事にされていることがわかりました。お腹の子がちゃんとうまれてくかとか元気かなどの不安や、うまれたら何しようかなど楽しみな気持ちなど抱えているんだなと思いました。
- ・今、自分が普通に生活できているのは当たり前じゃないと知りました。命がけでうんでくれたお母さんとうまれてきた自分に感謝したいと思いました。
- ・自分がうまれてきたことは当たり前ではなくすごいことなんだなと思いました。14歳になるまでに、たくさんの方が支えてきてくれたので、自分の命だけでなく、周りの人の命も大切にしようと思いました。
- ・保健師さんや助産師さんという仕事は、医者などの仕事と同じくらいすごいんだなと思いました。
- ・自分は1人でうまれてきたのではないということを自覚し感謝の気持ちを忘れないようにしたいです。
- ・命のことについてたくさん知ることができました。最後に聞いた曲もすごく感動したし、親からの手紙もすごく感動しました。これからは「命」を大切に親にもなるべく反抗しないように気をつけたいと思いました。
- ・保健師さんの話を聞いて、一番心に残ったのは、男子も女子も大人になりかけている時だから、他の人と比べる必要もないし、自分だけが…と思う必要もないといわれたことです。
- ・親からの手紙で、普段は自分のことを怒ったりしていても、やっぱり自分のことをすごく大切にしてくれているんだなと思いました。親からももらったたった1つの命を大切に生きていきたいと思いました。

いろいろご協力ありがとうございました。これからもぜひ
子どもたちの成長を見守り支えていくお家の方でいてください。

